



令和7年度山梨県人口減少危機対策支援事業費補助金事業として建設を進めていた保育所の多目的スペースが完成し、子どもたちと木下喜人村長が手作りの紅白テープで記念のテープカットを行いました＝3月11日、丹波山村保育所

# 広報 たばやま

2026

4

No.191

## トピックス

- 村議会3月定例会
- 教育大綱を策定
- 小中学校卒業式
- 带状疱疹ワクチン接種費用助成

### 編集と発行

丹波山村：山梨県北都留郡丹波山村 2450  
 TEL / 0428-88-0211 FAX / 0428-88-0207  
 E-mail / info@vill.tabayama.yamanashi.jp/  
 協力：株式会社西の風新聞社



人口と世帯(3月1日現在)

## 村長室から

### 広報たばやまリニューアルに寄せて

丹波山村の広報誌は、これまで3カ月に一度程度の頻度で発行してきましたが、事業や人の動きが激しくなってきた中、皆さまに情報をお届けするまで相当なタイムラグがありました。村の中で起きていることを、スピード感をもってわかりやすくお伝えするため、広報誌を毎月発行することにしました。

従来の村からの情報発信のあり方については、「紙の配付物が多い」という声も多くいただいています。デジタル化をすれば手配りする物の量は減りますが、さまざまな世代の方にきちんと情報をお届けするための対応としては不十分だと考えています。



協定書を手にする西の風新聞社の伊藤寛子社長(右)と木下喜人村長＝12月18日、丹波山村役場

広報誌のリニューアルにあたっては、西の風新聞社と令和7年12月に情報発信に関する連携協定を結び、行政から発信する情報を簡潔に、わかりやすく伝えるためのノウハウの提供をしていただいています。また、村長である私の考えをつづったコラム「村長室から」を毎号掲載することで、自らの言葉で丹波山村の今とこれからについてお伝えしていきます。

しています。まずは、これまで個別に印刷・配付していたお知らせを、広報誌の中に情報を集約していくことで、配付物の数を減らしていきます。

## 今月のタバスキー

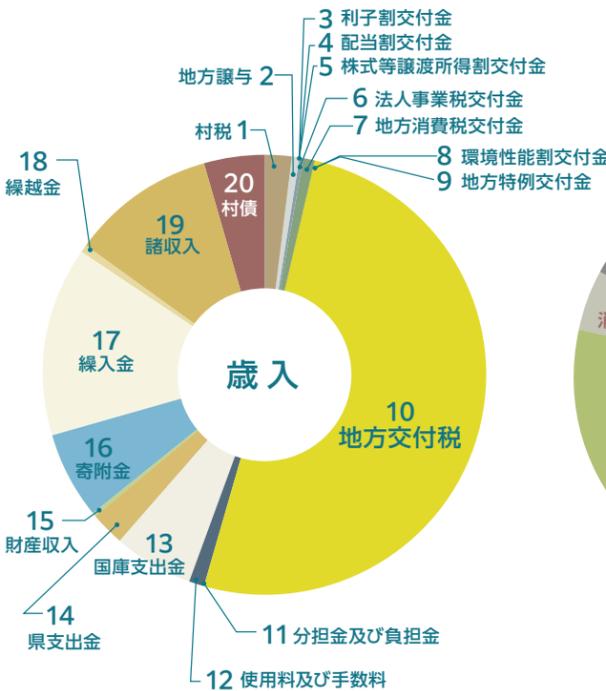


3月15日にAGFフィールドで行われた2026プレナスなでしこリーグ1部スフィーダ世田谷FCのホーム開幕戦「サミットGO GREEN MATCH」にお邪魔しました。スフィーダ世田谷FCのスポンサーを務めるサミット株式会社と丹波山村が連携した取り組みについてしっかりPRした後は、スフィーダ世田谷FCマスコットのトリニーと一緒にピッチの選手を応援！選手やサポーターのみなさんから「タバスキー！」と声をかけてもらい、ご機嫌なタバスキーでした。

# 令和8年度 当初予算 (一般会計)

(単位:千円)

	予算額
1 村税	40,562
2 地方譲与	11,253
3 利子割交付金	175
4 配当割交付金	360
5 株式等譲渡所得割交付金	493
6 法人事業税交付金	1,023
7 地方消費税交付金	14,604
8 環境性能割交付金	0
9 地方特例交付金	246
10 地方交付税	953,653
11 分担金及び負担金	2,426
12 使用料及び手数料	17,813
13 国庫支出金	112,729
14 県支出金	45,905
15 財産収入	6,288
16 寄附金	115,000
17 繰入金	265,087
18 繰越金	10,000
19 諸収入	196,470
20 村債	80,200
<b>歳入合計</b>	<b>1,874,287</b>



一般会計  
18億7428万7000円(前年度比3.9%増)



(単位:千円)

	予算額
1 議会費	24,397
2 総務費	618,352
3 民生費	228,231
4 衛生費	136,919
5 農林水産業費	64,256
6 商工費	104,314
7 土木費	295,407
8 消防費	84,147
9 教育費	140,414
10 公債費	159,920
11 諸支出金	7,930
12 予備費	10,000
<b>歳出合計</b>	<b>1,874,287</b>

## 村議会 3月定例会

丹波山村議会の3月定例会は、11日に開会し、13日に閉会しました。令和8年度当初予算や条例改正案など27議案が提出され、全て原案のとおり可決。一般質問は3議員が行いました。

開会にあたり木下喜人村長は、「記録的少雨により、小河内ダムの貯水率が36%となっているほか、飲料水についてもぎりぎりの状況。湧水による機器の異常に対応するため、昼夜を問わず委託事業者や担当課の職員が対応し、村の水道を守っている。村としても東京都や国の関係各所へ働き掛けていくが、現状への理解と今後の状況に応じて節水に協力をお願いしたい」などとあいさつしました。

主な議決内容は以下のとおり。

### 令和8年度 一般会計予算 主な事業

**総務費**  
小さな村g7サミット丹波山村開催事業費(報償費・委託料) 201万円  
5月22日～24日に丹波山村で開催される「第8回小さな村g7サミット」に際し、講演謝金、燃料費、会場使用料などに210万円を計上。

**地域おこし協力隊**  
地域活性化起業者として新たに委嘱する。

**農林水産業費**  
中山間地農業ルネッサンス推進事業費 200万円  
農業の振興を目的とした中山間地農業

**教育費**  
教員住宅管理費 390万円  
教員住宅(単身者用15戸+世帯用4戸)にエアコンを設置する。購入費や設置費に390万円。

**令和7年度補正予算**  
12月議会の様子を、YouTubeで限定公開しています。公開は4月30日(木)までを予定しています。

### 今日のニュース News 日本損害保険協会から軽消防車を寄贈いただきました



日本損害保険協会による軽消防車の寄贈式=2月26日、丹波山村役場

一般社団法人日本損害保険協会から丹波山村へ、小型動力消防ポンプを積載した軽消防車1台を寄贈いただきました。道幅が狭い山間地域の安全を守る上で、機動力の高い軽消防車の存在は不可欠であるものの、これまで村が所有していた軽積載車は平成11年に配備されたもので、著しい経年劣化が見られることから、早急な車両の更新が必要でした。こうした課題を踏まえ、村では令和6年度に日本損害保険協会による軽消防車1台の寄贈が決定しました。

2月26日に丹波山村役場で行われた寄贈式には、木下喜人村長や守屋保志消防団長らが出席し、日本損害保険協会の大知久一専務理事から目録などを受け取りました。

和8年度においては村内で空き家になっていく住宅3棟改修して貸し出し、移住者の受入促進と定着を図る。設計管理費委託料や工事請負費に6923万2000円を計上。国・県からの支出金があるため、村の負担は総事業費の4分の1。

**地域おこし協力隊**  
地域活性化起業者として新たに委嘱する。

**地域おこし協力隊**  
地域おこし協力隊や地域活性化起業者制度を活用し、村の課題の解決や地域振興に取り組み。地域おこし協力隊は、新たに加わる3人を含む10

人分の人件費、活動費のほか、隊員の日々のサポートに係る経費として委託料等に6885万円。地域活性化起業者は、企業派遣型7人、副業型3人の計10人分として4386万6000円。村の情報発信強化を目的に、株式会社西の風新聞社から社員を派遣を受けるほか、地域居住者の受け入れ拠点づくりのため、株式会社アドレスの社員を副業型起業者として新たに委嘱する。

ルネッサンス事業として、「山梨県中山間地農業活性化推進事業費補助金」を活用し、花き栽培に取り組み。講師報酬や調査等旅費に200万円を計上。村の気候に対応できる品種を県のアドバイザーから紹介してもらい、栽培を試み、道の駅の直売所での販売等を見込んでいます。

**総務費**  
地方創生臨時交付金事業(専決) 2412万円  
国の補正予算に伴う「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した緊急の物価高騰対策事業として、2412万円。令和8年1月1日時点で村に住民登録があった村民1人あたり4万7000円を現金給付した。

12月議会の様子を、YouTubeで限定公開しています。公開は4月30日(木)までを予定しています。

# 村の子どもたち



丹波中学校卒業式= 3月11日



## 丹波小・中学校で卒業式



丹波小学校を卒業した6年生3人= 3月18日

丹波山村立丹波中学校第79回卒業式が3月11日に行われ、2人の卒業生が出羽勝頼校長から卒業証書を受け取りました。2人は、「教科書に載っていない学び」が詰まった丹波山村での日々を振り返り、お世話になった先生方や地域の方へ感謝の言葉を贈り、両親に宛てた手紙を朗読しました。

3月18日には、丹波小学校で第150回卒業式が行われ、3人の児童が卒業しました。

## 丹波山村教育大綱を策定しました

令和8年度から令和11年度までの丹波山村の教育行政の指針を示す「教育大綱」を策定しました。丹波山村こども政策アドバイザーでもある、日永龍彦山梨大教授に策定委員長を務めていただき、令和7年7月から計5回の策定委員会を開催。丹波山村総合教育会議（令和8年2月9日）、パブリックコメント（受付期間2月17日～3月3日）を経て、丹波山村教育大綱を決定しました。

### 日永龍彦策定委員長のコメント

丹波山村では、令和4年度から「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」の活動を始め、地域と学校が連携して特色ある学校づくりを進めてきました。今回の大綱は、これまでの取り組みを生かしつつ、子ども大人も地域の中で学び合い、それぞれが自分らしく生きていくことを基本理念としています。これは、一人ひとりを尊重しながら自律

と共生を学ぶ、ドイツ発祥の教育手法「イェナプラン教育」の考え方と共通するものです。今後、丹波山村では、イェナプラン教育の理念を踏まえ、できる範囲で柔軟にイェナプラン教育を取り入れていく試みとして、「丹波山式ゆるイェナ教育」を推進していきます。「ゆるイェナ」の名称の使用にあたっては、日本イェナプラン教育協会のご了解を得られましたが、この取り組みは、思いを共有する人と、より良い環境が

ないと持続しません。また、学校や教育行政関係者だけでは前に進みません。村の教育行政に期待することは、「ゆるイェナ」に共感できる学校職員の確保と、保小・中の連携強化、そして、将来的な施設の一体化です。学校運営協議会で毎年大綱を振り返り、より良い実践に高められるよう、支援をお願いしたいと考えています。



日永龍彦 策定委員長

## 带状疱疹ワクチン接種費用助成のお知らせ

○次の要件に該当する方は、接種費用の一部を村が負担します。

対象者	村負担額	接種医療機関
① 令和8年度 定期接種対象者（令和8年度内に、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方）	生ワクチン 4,400円 (一人1回まで)	丹波山村国保診療所 ☎ 0428-88-0303  山梨県内の医療機関 (医療機関にご確認ください)
② 満60歳以上65歳未満でヒト免疫不全ウイルスにより、免疫の機能に障害を有する方（身体障害者手帳1級相当）	組換えワクチン 11,000円 (一人2回まで)	丹波山村国保診療所 *診療所以外の医療機関で接種した場合は、全額自己負担になります。
③ ①及び②以外の方で、接種当日、65歳以上の方（任意接種扱い）	通知はありません。診療所にお問い合わせください。 ☎ 0428-88-0303	

助成対象期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日までの間に接種を完了してください。  
\*不活化ワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン）は、接種間隔がありますので、ご注意ください。

- ★過去に带状疱疹ワクチン接種費用助成を受けた方は、定期接種・任意接種問わず、助成対象にはなりません。
- ★過去に带状疱疹ワクチンの接種を完了した方は、原則、定期接種の対象にはなりません。
- ★医療機関が示す接種費用から村負担額を差し引いた金額を、窓口でお支払いください。
- ★带状疱疹ワクチン(定期接種B類)の救済補償額は、定期接種・任意接種ともに同等の額です。
- ★ワクチンは2種類あります。医師にご相談ください。

種類	生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン）	不活化ワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン）
接種回数および接種間隔	1回（皮下注射）	2回（筋肉注射） 1回目接種から2カ月の間隔を おいて2回目接種。
予防効果	5年程度とされている。	9年以上とされている。
副反応	注射部位の発赤、かゆみ、熱感、腫れ、痛みなど	注射部位の痛み、発赤、腫れ、発熱。疲労感など

お問い合わせ：丹波山村 住民生活課 ☎ 0428-88-0211

## 地方創生伴走支援制度

### 支援官が持続可能な村づくりへ提言



地方創生支援官による発表会 = 3月2日、丹波山村役場

丹波山村は令和7年度、「地方創生伴走支援制度」を通じ、文部科学省、経済産業省、農林水産省に勤務する国の職員の方々を、「地方創生支援官」として丹波山村にお迎えしました。

最後の現地訪問となった3月2日には、「地方創生支援官から見た丹波山村」と題し、村長をはじめ役場職員や住民の前に、持続可能な村のあり方について発表していただきました。

昨年4月以降、4回の現地訪問やオンラインでの会議、イベントへの参加等を通じて丹波山村の現状を知っていただき、今後の村づくりへの提言をいただきました。

した。支援官からは、「青梅街道沿いや多摩川流域の自治体との交流の促進による関係人口の創出を図るべき。そのうえで、住む場所、泊まる場所を増やすことが鍵」などの意見があり、木下喜人村長は、「1年かけて丹波山村に関わってもらえてうれしかった。これからも関係が続くことを願っている」と話しました。



お世話になった地方創生支援官の皆さん 高橋一郎さん（文部科学省）、堀川純世さん（経済産業省）、齋藤将司さん（農林水産省）（左から）



# お知らせ Information

## 日帰り人間ドック希望者を募集

丹波山村国民健康保険加入者と後期高齢者医療保険加入者を対象に、人間ドックの一部助成を実施しています。受診を希望する方は、住民生活課までお申込みください。詳細は、別途配布するチラシをご覧ください。

## 子宮頸がん検診を受診しましょう

子宮頸がんは子宮の入口にできるがんで、主にウイルス感染が原因です。20代～30代の若い世代で増えています。初期には症状がないため、検診で早期発見することが大切です。受診を希望される方は、住民生活課までお申込みください。詳細は別途配布するチラシをご覧ください。

## 保育士職員を募集

丹波山村では、令和9年度から丹波山村保育所で勤務していただける保育士を募集します。応募は、3月30日(月)まで山梨県電子申請サービス「やまなしくらしねっと」で受け付けます。詳細は、山梨県東部3市3村職員共同採用試験の特設ページをご覧ください。

【問い合わせ先】  
総務課 0428-88-0211



## 不正大麻・けし撲滅運動について

山梨県では、4月～8月の5カ月間、「不正大麻・けし撲滅運動」を展開します。「大麻」や麻薬の原料となる「けし」は、法律により、所持や栽培等が禁止されています。しかし、大麻やけしと知らずに栽培してしまうケースや、自生している場合があります。春から夏にかけては、大麻やけしが成長し、特徴的な葉や花が現れるため、発見しやすい時期です。もし、大麻やけしを発見した場合は、抜かずに、最寄りの保健所へご連絡ください。

【大麻やけしの見分け方等について】  
県ホームページをご確認ください。『山梨県 大麻・けし』で検索)

【連絡先】  
山梨県富士・東部保健所 衛生課 0555-24-9033

## 桃花台学園学校説明会

高等支援学校桃花台学園では、今年度も学校説明会を年間10回開催します。5月～7月の5回は、本校を進路先の一つとして考えている中学3年生が対象となります。桃花台学園に興味

がある・受験を考えている皆さん、ぜひご参加ください。中学3年生以外を対象とした学校説明会は9月以降に開催を予定しています。

【対象】中学3年生・特別支援学校中学部3年生(既卒者を含む)とその保護者、市町村教育委員会及び学校関係職員

【日時】  
①5月8日(金)午前 ②5月19日(火)午前 ③5月22日(金)午前 ④6月30日(火)午前 ⑤7月10日(金)午前

【場所】  
山梨県立高等支援学校桃花台学園(笛吹市石和町中川1400)

【申込方法】  
各学校に案内を送付しますので、学校を通じてお申込みください。詳細につきましては、本校ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】  
高等支援学校桃花台学園・相談支援部  
Tel: 055-263-7760

## スマホにも「インフォカナル」を

防災情報アプリ「@infoCanal(インフォカナル)」は、各家庭に配付している防災放送タブレットだけでなく、スマートフォンでも使用できます。災害時の避難情報や毎日の定時配信など、大切なお知らせを外出先でも受け取れるよう、ぜひ、スマートフォンへのダウンロードをお願いします。

Android用



iOS用



**カルチャークラブ**  
入退室自由・  
村民なら誰でも参加OK!

【場所】丹波山村役場2階大会議室  
【時間】15:00～17:00  
【内容】3日(金) 囲碁・将棋・健康麻雀  
10日(金) 読書の会  
17日(金) 塗り絵・スケッチ  
24日(金) 手芸・編み物  
【問い合わせ先】教育委員会 0428-88-0211

※小学生以下のお子さまが参加される場合は、ぜひ保護者の方もご参加ください。  
※手芸、編み物は材料をご持参ください。

小学生向け  
手縫いで作る ミニトレイ

【持ち物】  
・外布: 12cm×12cmを1枚※  
・内布: 12cm×12cmを1枚※  
※お好きなサイズの布で良いです。

# 4月 カレンダー ゴミ分別収集日程表

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 プラスチック	2 ペットボトル	3 カルチャークラブ 丹波山村消防団任命式 燃えるゴミ	4
5	6 小中学校始業式 燃えるゴミ	7 小中学校入学式 ダンボール	8 ミックス紙	9 ビン	10 カルチャークラブ 燃えるゴミ	11 たばやまデパート
12 たばやまデパート	13 燃えるゴミ	14 粗大ゴミ	15 燃えるゴミ	16	17 カルチャークラブ 燃えるゴミ	18
19	20 燃えるゴミ	21 行政相談 カン	22 燃えるゴミ	23 雑誌	24 カルチャークラブ 移住出張相談 燃えるゴミ	25 丹波山春のSAKE テラス
26	27 燃えるゴミ	28	29 昭和の日	30 固定資産税第1期・ 介護保険料第1期納期限 新聞	1	2